

麴町学園女子中学校高等学校



外観

1905(明治38)年創立の「麴町学園女子中学校高等学校」は、皇居を臨む千代田区麴町に位置。文化の香り高い閑静な環境で「豊かな人生を自らデザインできる自立した女性」を育成する中高一貫教育を行っている。



内観

グラウンド、コンピューター実習室、最上階のスカイスタジオ、インターナショナルラウンジなど、生徒たちがよりよい環境で学習できるように配慮された多彩な教室や空間が確保されている。

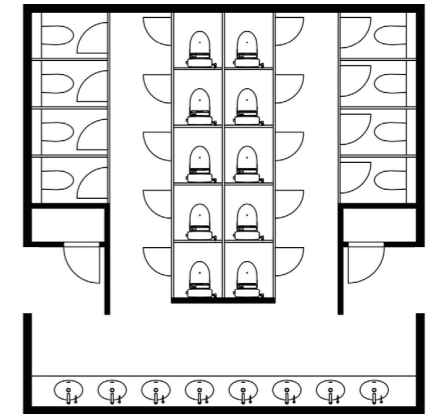


手洗いコーナー

図書室とカフェスタイルの自習スペース「サクラ咲くcafe」の入口に手洗いコーナーを設置。非接触で使用できる自動水栓を採用している。

トイレ図面

夏休みに短工期・省施工で工事を完了させるため、既存の便器の配管を利用できる和洋リモデル工法を採用。器具数を減らすことなく、改修前の広さを変えずに洋式便器を設置している。



トイレ入口

教室前の廊下、突き当りにトイレの入口を設置。混雑する休み時間の混雑緩和やスムーズな動線確保のために、反対側の廊下に通じる入口も設置されている。



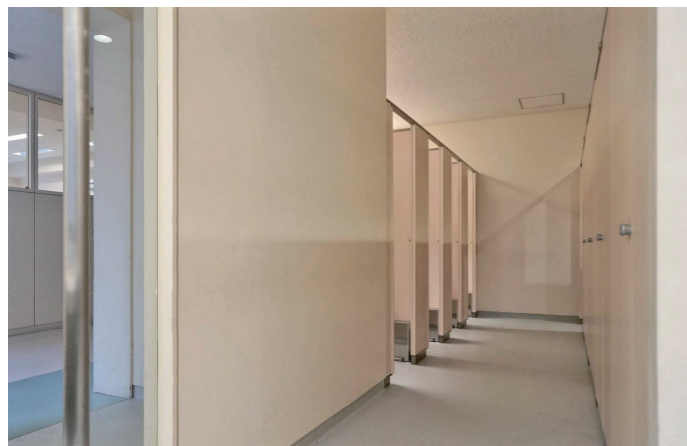
洗面コーナー

印象的な大きな個別鏡とたくさんの洗面器が整然と並ぶ洗面コーナー。改修前は、手動の水栓金具を設置していたが、衛生面に配慮して、改修を契機に非接触で節水も可能な自動水栓に変更している。



洗面・身繕いコーナー

洗面器が並ぶカウンターの両端には、荷物を置いたり、身繕いを行うことができるようにする配慮から、延長してスペースを設けている。



大便器コーナー

大便器ブースは、明るいナチュラルカラーの木目調の内装材を採用。改修前の暗かった印象を一新し、優しい雰囲気空間になっている。



大便器ブース

ブースの広さを変えずに設置できるコンパクトな大便器を選定。またウォシュレットには、温度設定や清掃時のノズル出し戻しの操作をリモコンひとつで連続設定ができる、管理清掃用リモコンを導入している。



改修前

築約20年を経過した改修前のトイレには、以前から洋式便器を選ぶ生徒が多かったが、和式便器が半数を超えて設置されていたため改修を実施。また、落ち着いた雰囲気のインテリアは、一方で暗い印象を与えていた。

水まわりの特長

建物の特徴

「麴町学園女子中学校高等学校」は、中高一貫教育で計761名(2022年4月現在)の生徒が在籍。1905(明治38)年に創立し117周年を迎える伝統校。皇居を臨む千代田区麴町の閑静な環境に位置し、国立劇場をはじめとする数多くの文化施設や、国会議事堂などの官公庁施設、各国の大使館などが点在する東京の中心にある。また、地上7階、地下1階の校舎には、生徒たちがよりよい環境で学習できるよう、グラウンド、コンピューター実習室、スカイスタジオ、インターナショナルラウンジ、ルーフガーデン、温水プール、作法室など充実した施設が設けられている。教育目標「聡明・端正」のもと、「豊かな人生を自らデザインできる自立した女性」を育てている。

水まわりの特長

築約20年が経過し老朽化していた改修前のトイレは、和式便器が半数以上設置され、洋式便器を好む生徒が列をつくっていたこともあり、大便器の洋式化を含めてトイレ環境の改善を実施。大便器は、前出のコンパクトなパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用することで、ブース数を減らさずに洋式便器に変更。また、短工期で改修できる和洋リモデル工法を採用し、夏休み中に改修工事が完了した。ウォシュレットには、温度設定や清掃時のノズル出し戻しの操作をリモコンひとつで設定できる、管理清掃用リモコンを導入。洗面コーナーは、非接触で使用できる自動水栓に変更され、生徒が食事前の手洗いにも利用している。インテリアは明るい木目調の内装材を採用し、優しい雰囲気の空間となっている。

建築概要

名称	麴町学園女子中学校高等学校
所在地	東京都千代田区麴町3-8
施主	麴町学園女子中学校高等学校
設計	TOTOアクアエンジニア株式会社
施工	TOTOアクアエンジニア株式会社
竣工年月	(改修)2022年9月
敷地面積	4,480.18㎡
建築面積	3,507.99㎡
延床面積	13,759㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・地下1階、地上7階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BM
ウォシュレットP:TCF587/ウォシュレット管理清掃用リモコン:TCA393
台付自動水栓:TENA40AW